




第105号 令和7年8月

編集発行 庄内教育事務所 指導課
〒997-1301
東田川郡三川町大字横山字袖東7番1号
Tel.0235-68-1982/FAX0235-66-3015

いじめ・不登校未然防止推進事業 地区協議会①

5月29日(木)に今年度1回目の庄内地区いじめ・不登校未然防止推進事業地区協議会を開催し、文部科学省初等中等教育局 いじめ・自殺等対策専門官 井熊 一穂 氏を講師に迎え、「いじめ未然防止につながる平時からの備え～学校にできること～」をテーマに研修会を行いました。70名を超える先生方から参集いただきましたことに感謝申し上げます。



◆平時からできる備えとして・・・

- ◇すべての教職員が法律、基本方針、ガイドライン、「生徒指導提要(改訂版)」を理解すること
- ◇「いじめ」にあたるか否かの判断は、表面的・形式的にすることなく、いじめられた児童生徒の立場に立ち、また、個人で抱え込んだり、対応不要と判断したりすることなく、組織として判断すること

◇いじめの定義や保護者の責務、相談窓口等を含め、「学校いじめ防止基本方針」を入学説明会や保護者会等で周知すること

上記のように、さまざまな視点から助言をいただき、「認知の数は支援の数である」として、日頃の学校での取り組みを後押ししていただきました。

◆参加者の感想より(一部抜粋)

いじめ発生0件を目指すのではなく、いじめ見逃し0件を目指し、積極的に認知するとともに、解消100%を目指し、チームで指導に当たっていきいたいと思った。

日々の授業で、自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場、安心安全な雰囲気づくりを全職員意識できるように、同僚性を高めることを意識していきいたい。

学びをつなぐ「全県オンラインフォーラム」

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善による確かな学力の育成に向け、下記の内容で、オンラインでの研修会を今年度4回開催します。第1回(5/27)は「学び×ICT」をテーマに、春日井市教育委員会教育研究所教育DX推進専門官 水谷 年孝 氏を講師に迎え、端末やクラウド活用による授業事例を紹介していただきながら、授業づくりで大切にしたいポイントについて、お話をいただきました。

【講師資料より】



端末・クラウド活用による授業の変化

- 1 活用手段の多様化
- 2 児童生徒の活動時間・データ量
コミュニケーションの増加
- 3 アウトプットの量・質UP
- 4 児童生徒の活動の複線化
- 5 児童生徒にどんどん「委ねる」
- 6 教師はきちんと見取って個別支援
- 7 結果的に「教える」授業から
自ら「学ぶ」授業への変化

全国各地の着実に進んでいる学校の共通点

- ① 環境
・ネットワークが高速・安定
・教師用端末整備 ・汎用クラウド活用
- ② 授業＝めざす目標の共有
・学習過程を意識 ・振り返り ・十分な支援
- ③ 校務活用+教師の十分な活用体験
- ④ 無駄な規制がない
- ⑤ 校長のマネジメント+チーム推進

第2回(9/25)「他県の取り組み(仮)」、第3回(11/27)「学力育成の一層の充実(仮)」、第4回(2/27)「教科指導力向上に資する研修(仮)」を今後予定しております。各開催日の1か月前頃に詳細をお知らせしますので、ぜひご参加ください。



特別支援教育について

今年度も庄内教育事務所では特別支援教育の推進に向けて研修を実施しております。一人一人の子どもによりよい成長のために、積極的に研修に御参加いただくとともに、下記のとおり各種参考資料もありますので、ご活用ください。

☆今後の研修の予定(特別支援教育研修会) ※各校に別途お知らせします

- 9月2日(火)(オンライン)
「これからの特別のニーズのある子どもたちへの指導・支援～通常学級での取り組みを中心に」
明治学院大学心理学部 教授 海津亜希子 氏
- 11月25日(火)(オンライン)
「教育機関による合理的配慮について(仮)」
東京大学バリアフリー教育開発研究センター 特任教授 平林 ルミ 氏



☆各種参考資料

特別支援教育全体		特別支援学級	通級による指導	通常の学級	
「山形県の特別支援教育」	特別支援教育課公式X(旧Twitter)	「特別支援学級ハンドブック」	「通級による指導について」リーフレット	「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりハンドブック」	「クラスでできる支援ヒント集」
特別支援学校・小・中・高校の取組みや、相談窓口など載せた資料です。	特別支援学校や特別支援教育課の取組みについて紹介しています。	特別支援学級担当者の指導・支援等の手がかりとなる資料です。	「通級による指導」について説明し、指導・支援の参考となる資料です。	授業改善のための7つの視点を提案する資料です。リーフレットもあります。	児童等の具体的な困難から支援のヒントを紹介する資料です。
					

教科担任マイスター制度

山形県では、「教育山形「さんさん」プラン」推進のための環境整備の一つとして、「教科担任マイスター制度」を展開しています。

庄内地区では、下記のとおり重点校2校、配置校8校において教科担任制を推進し、「教科担任マイスター」を中心に、日常的な授業改善をとおして学力向上に向けた取り組みを展開していただきます。

県内の重点校の実践は、下記二次元コードからご覧いただくことができますので、ご参照ください。

【算数】重点校：酒田市立富士見小学校
配置校：鶴岡市立大山小学校
三川町立横山小学校
酒田市立八幡小学校
酒田市立浜中小学校

【外国語】重点校：酒田市立十坂小学校
配置校：鶴岡市立上郷小学校
鶴岡市立湯野浜小学校
鶴岡市立藤島小学校
酒田市立新堀小学校



グローバル人材育成に向けた英語教育推進事業<<新規事業>>

英語発信力向上に向けた、学校における系統的な指導の充実とモデル構築を図り、効果的な指導事例を広く発信することにより、県内各学校の英語教育の推進を図ることを目的とする新事業が令和7年度からスタートしています。

庄内地区では、酒田市立鳥海小学校、酒田市立第二中学校から実践推進校をお引き受けいただき、発信に向けて実践研究を進めているところです。敬愛大学 向後 秀明 教授からご指導をいただきます。多くの先生方と英語発信力向上について協議できればと思っていますので、ぜひ公開授業研究会にご参加ください。

10月3日(金)庄内地区公開授業研究会(鳥海小)

6年生外国語科 授業者 中村 哲大 教諭

11月28日(金)山形県公開授業研究会

兼 酒田市第3回小中外国語授業力研修会(酒二中)

1年生外国語科 授業者 佐々木 恵巳 教諭